

# MOSAIC



河北台中学校第2学年通信

「秋の香り」といえば1番に何を思いますか。香しく物寂しい稲穂の匂い、ふんわりと甘い金木犀の香り、などいろいろありますね。我が家では、梨が秋を知らせてくれます。食卓に2つ、3つならぶ梨からの香りが天然のオーデコロンになっています。

## 後期が始まりました

### Shout It Out Loud!

2年1組 青団  
会長  
副会長  
書記  
書記

2年2組 赤団  
会長  
副会長  
書記  
書記

2年3組 黄団  
会長  
副会長  
書記  
書記

24日、市総合体育館を借りて、体育祭が行われました。室内開催2年目の今年は「進鍵（しんけん）」をスローガンに掲げ、1人ひとりが目標に向かって真剣に取り組む姿が光る体育祭となりました。学年種目の「棒運び」では学級全員が気持ちと動きを合わせて障害物や棒を乗り越える姿に大きな拍手が起きました。



表 杏 2年1組（青団）

委員会の玉入れの運営をするとき、普段関わるが少ないので1年生や3年生と協力しながら仕事ができ、楽しかったです。苦手なことをどんどん挑戦しようと思える体育祭になりました。

三崎 大聖 2年2組（赤団）

優勝できてとても嬉しいです。自分はあまり目立ったことはできなかったけれど、一生懸命に応援をしました。練習を重ねるにつれて声が出るようになりました。



北 蒼依 2年1組（青団）

棒運びで効率よくスピードを出すこと、借り物競争でどこに何があるか頭に入れたこと、応援合戦では歌詞や振り付けを正確に覚えたことなど、自分なりに工夫をして頑張れた。

吉田 菜々夏 2年2組（赤団）

練習期間に休んでいて種目の方が十分覚えられなかったけど、友達のサポートのおかげで、全部の種目に出られたことが一番の思い出です。女子の人数が少なく、みんな3回入っていたことも印象に残っています。

蘭上 陽詩 2年3組（黄団）

1番不安だったのが棒運びや応援でした。私は大勢の人と一緒にいることが苦手なので、「みんなに迷惑かけないかな」という気持ちで頭が一杯でした。それでも「みんなとなら大丈夫。勝ちたい。」と思えたのは、補う雰囲気を自然に作ってくれたみんなのおかげです。

小林 悠夏 2年1組（青団）

いろんな場面や状況で嫌だなって思うことはあるし、そうだった。でも主体的に動くとその気持ちが変わっていくと感じた。嫌っていいながら誰より本気でやってた人、そんな人を見て感動した。

金木 愛海 2年3組（黄団）

競技中は学級全員で明るい声かけをし、自分の競技ではないときも黄団全員で応援していて、とてもいい雰囲気で行うことができてよかったです。練習中も応援団に従って練習する姿がよかったです。

黒岩 叶和 2年3組（黄団）

結果は2位で悔しいけれど、みんな楽しく笑顔で時間を共有できたことがうれしかったです。プロ委として競技の運営をするのも、普段にはない緊張感と責任感を味わい、成長できたと感じました。

# ハチマキを外した 外すのはちょっと惜しかった



## 仲間が見た 人物像

—多様なまなざしから浮かぶ魅力—

津田春真さん

応援リーダーも、リレーも、借り物競争も、出るだけじゃなく、全部すごかった！

濱田心さん

リレーが嫌といいながら本番は全力で走っていたし、練習のときも「やらんの一？」って声かけていた。

油野結仁さん

自分の競技も真剣にやりつつ、他の人の代わりに参加した競技も真剣にやっていた。

藤田乃愛さん

声が枯れるくらい本気を出して応援していた姿が印象に残った。

加々美新菜さん

委員会などもあり、なかなか休憩できない中、声をあげて応援もがんばっていたから。

東心季さん

4回も出番があったのに、最後までやりきっていたから！

鮎川白空弥さん

団の雰囲気を盛り上げてくれた。団の声が小さいときは自ら声を張り、けん引する姿がかっこよかった。

櫻井香捺子さん

体育祭で生徒会の仕事がずっとあったけど、それを完璧にこなし、競技も頑張る姿がすてきでした。

徳応純さん

最初の応援練習でいきなり大声を出していた。心強く感じ、おかげで自分も声を出すことができた。

金子愛理さん

棒の受け渡しの時、タイミングがずれて落ちてしまったけど、そこから修正する対応がすごく早く助かった。

岸空輝さん

常に応援しようとする気持ちが伝わるほど、最初から最後まで一生懸命に応援する姿があったから。

本気になれたことが

いちばんの結果です。

百万枚撮りのフィルムでも 撮りきれないほどの 思い出のひとかけらを

ありふれた 今日のどこかに 見つけ出そう